

酒とパソコンと少々ミルク

わずかな差が大きな損失

成光 昭男

暑い日が続き、少々胃腸の調子を崩し、1週間もアルコールを控えています。

今朝、胃カメラ検査を受けて、とりあえず異常なしで一安心。しかし、しばらくは禁酒状態が続きそう。

夏のビールが格別に旨いのに実に残念なものでした。

さて、久しぶりに酪農ネタです。

例によって、ある酪農家で牛群検定成績表を見せて頂きました。

繁殖成績に改善の余地があるものの、全体的には立派な成績に感心させられたのですが、ひとつ気になることがありました。「搾乳管理」の項目です。

この情報から、この牛群では1割以上の乳量の損をしていることがわかります。

搾乳間隔の短い方(この例では朝から夜)の時間%を乳量%で割ります。

$$40 \div 45 = 0.89$$

この計算結果が1であれば問題はないのですが、1より小さくなるほど乳量の損失が大きくなります。この例では11% ($1 - 0.89 = 0.11$)も乳量を損失している可能性があります。

ちなみに、宮崎県の6月の検定成績の集計では、下の図のように、時間と乳量の%が同じでした。

搾乳管理			
検定種別		A4	
時刻	1回目	17:40 ~ 19:20	
	2回目	08:10 ~ 09:45	
	3回目	~	
ユニット		8.0 台	
1回平均		98 分	
1頭平均		20 分	
	時間	乳量	
朝 → 夜	40 %	45 %	
夜 → 朝	60 %	55 %	
→	%	%	

搾乳管理	
ユニット	5.0 台
1回平均	77 分
1頭平均	14 分
	時間 乳量
1回目	45 % 45 %
2回目	55 % 55 %

搾乳管理は、2回搾乳農家で集計

朝と夜の搾乳時刻の少しの違いは乳量に影響は及ぼしませんが、時刻の差が大きくなると、乳量に影響を及ぼすことがあります。

とくに個体乳量の多い牛群では影響が大きくなる場合がありますので、注意が必要です。

搾乳間隔時間の40%と45%の差は、時間に直すとわずか36分の差。この差で10%以上も乳量を損してしまうこともあるのですね。。

この項目は、牛群検定表の右下に普段はあまり気に留めない場所にあります。

注目して頂きたいのは、一番下の段です。搾乳の時刻が朝と夜で少しずれているため、朝から夜の時間が40%、夜から朝の時間が60%です。これに対して、乳量は朝から夜が45%、夜から朝が55%です。